

G i k a i

2024年 第74号

令和6年7月25日発行

おみたまま市議会だより



Contents

第2回定例会

- 定例会内容P 2-3
- 常任委員会 Q&AP 4
- 一般質問P 5-10

燃える市内小中学校運動会



1. 見やすい

議会広報紙を目指して



2. 分かり易い

議会広報紙を目指して



3. 興味の沸く

議会広報紙を目指して



読まれない
広報紙に
出す価値なし!!

埼玉県寄居町は「読まれない広報紙に出す価値なし」をモットーに、デザインの専門家を交えて編集会議を行っており、これまで全国町村議会議長会コンクールにて最優秀賞を受賞するなど、手に取って読みたくなる広報紙の作成を行っています。視察研修を経て、「おみたま市議会だより」をより良いものに刷新できるよう、引き続き調査・研究を続けてまいります。

広報特別委員会 委員長 香取 憲一
広報特別委員会 委員一同

はじめの一步 (視察編)



議会広報日本一の寄居町へ

審議結果

令和6年 第2回定例会 審議結果等一覧 (全26件)

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■ 条例 (1件)				
47	小美玉市下水道条例の一部を改正する条例について	下水道法施行令の一部を改正する政令及び標準下水道条例の改正に伴い、所要の改正を行うもの	産業建設	原案可決
■ 報告 (2件)				
1	専決処分の承認を求めることについて	小美玉市税条例等の一部を改正する条例についての専決処分	—	原案承認
2	専決処分の承認を求めることについて	小美玉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分	—	原案承認
■ 補正予算 (3件)				
48	令和6年度小美玉市一般会計補正予算(第2号)	[補正額] 3,595万2千円 [補正後額] 244億797万1千円	各委員会	原案可決
49	令和6年度小美玉市下水道事業会計補正予算(第1号)	[収益的収入及び支出] 収入 [補正額] 1,700万円 [補正後額] 15億8,896万1千円 支出 [補正額] 1,700万円 [補正後額] 15億3,493万5千円	産業建設	原案可決
67	令和6年度小美玉市一般会計補正予算(第3号)	[補正額] 750万4千円 [補正後額] 244億1,547万5千円	—	原案可決

令和6年 第2回定例会 審議結果等一覧

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■人事案件（14件）				
55	情報公開審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、亀田哲也氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
56	情報公開審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、金子政巳氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
57	情報公開審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、高野晴夫氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
58	情報公開審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、新たに柴田千青氏の選任について同意を求めもの	—	原案同意
59	個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、亀田哲也氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
60	個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、金子政巳氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
61	個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、高野晴夫氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
62	個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、新たに柴田千青氏の選任について同意を求めもの	—	原案同意
63	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、新たに田口茂氏の選任について同意を求めもの	—	原案同意
64	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、白井福夫氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
65	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、須崎孝一氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
66	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	委員の任期満了に伴い、関口輝門氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
69	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	教育長の任期満了に伴い、羽鳥文雄氏の再任について同意を求めもの	—	原案同意
70	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	教育委員の任期満了に伴い、新たに高橋晃子氏の任命について同意を求めもの	—	原案同意
■その他（6件）				
50	工事請負契約の締結について	旧小川小学校解体工事の請負契約を締結するもの	文教福祉	原案可決
51	工事請負契約の締結について	旧玉里北小学校解体工事の請負契約を締結するもの	文教福祉	原案可決
52	市道路線の認定について	開発による宅地分譲等に伴い造成された道路を市道上玉里5347号線及び5348号線として認定するもの	産業建設	原案可決
53	市道路線の廃止について	用途廃止申請に伴い市道与沢0095号線を廃止するもの	産業建設	原案可決
54	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更に ついて	関係政省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
68	動産の買入れ契約の締結について	公共用バスの買入れ契約を締結するもの	—	原案可決

小美玉市議会は3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）を設置しています。議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。第2回定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

総務

（委員）津家川崎田
 ◎長真荒山戸鬼

◆令和6年度 小美玉市一般会計補正予算

【議案第48号】

問 企業版ふるさと納税に対する指定寄附金807万2千円を人件費に充ててよいのか。

答 人材派遣型の企業版ふるさと納税は、国において令和2年度に創設した制度である。企業側が企業版ふるさと納税として寄附を行い、その寄附とあわせて職員を人材派遣し寄附はその人件費に充てるものである。

問 人件費354万2千円は、企業版ふるさと納税の人材派遣制度を活用するものだが、この経費は、来年度も同様に続くのか。

答 寄附があった年度限りで次年度以降は予定していない。

問 企業4社から寄附を受けて、その企業から派遣される職員は何名か。

答 企業内訳は、サンノバルテ、草刈木工、大東虎ノ門設計、サンクスラボの、4社。サンクスラボからは寄附とあわせて1名の人材派遣を受ける予定である。



▲6月10日 審議中の様子

文教福祉

（委員）井田槻仲木田内
 ◎石島大谷鈴内宮

◆令和6年度 小美玉市一般会計補正予算

【議案第48号】

問 都市構造再編集中支援事業補助金の内示割れに伴い、令和7年度に公民館等解体工事が実施となるが、今後のスケジュール全体に遅れは生じないか。

答 令和7年度に解体工事と併せてその他の実施設計等を予定通り進めることにより、全体計画の中で大きな影響はない。

◆工事請負契約の締結について 【議案第50号】

問 旧小川小学校にある石碑や樹木類は、解体工事の中でどのような取扱いになるか確認する。

答 重要な石碑等は解体時に養生し、移設する。樹木類は大小合わせて220本程度の伐採を見込んでいる。

◆工事請負契約の締結について【議案第51号】

問 旧小川小学校と旧玉里北小学校の解体業者が同じだが、監理技術者など適正な施行体制が確保されているか。

答 それぞれ別の監理技術者を配置することで、適正な施工体制を確保する。



▲6月11日 現地調査の様子

産業建設

（委員）田島村村本取
 ◎村福市田岩香

◆小美玉市下水道条例の一部を改正する条例について 【議案第47号】

問 下水道除害施設を設置する事業者は何件あるか。市内事業者の中で、除害施設を設置している方は52件である。

答 52件である。

◆令和6年度 小美玉市下水道事業会計補正予算

【議案第49号】

問 ウォーターPPP事業導入検討業務委託について、将来的にウォーターPPPによる官民連携に踏み出すという認識でよいか。

答 令和9年度以降、管路施設の更新に関する補助金の交付要件として、ウォーターPPPの導入が義務付けられていることから、導入に向けて進めていきたいと考えている。

問 ウォーターPPPの導入は、民間事業者の参入が必要だが、現時点の見通しはどうか。

答 本事業は大規模都市での導入が多い傾向である。今後事業者の選定は大きな課題であるが実施に向けて検討していく。



▲6月12日 現地調査の様子

一般質問

11名

市政を質す！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

- P 5 戸田 大我
- P 6 福島 ヤヨヒ
鈴木 俊一
- P 7 内田 和彦
香取 憲一
- P 8 真家 功
宮内 勇二
- P 9 石井 旭
谷仲 和雄
- P 10 鬼田 岳哉
山崎 晴生

※質問順

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。



コロナ5類移行後の学校生活や行事のあり方について

従来の慣習に従って実施してきたものにも改善点が見えた

戸田 大我



【要望】
今の時代に合わせた新しい学校行事の形の中でも、容易な省略をするなどして大切なものまで削ぎ落さないよう、市の教

育行政として検討された。い。
Q コロナ5類移行後の学校生活や行事のあり方について問う。
①市内学校にどのような配慮を求めているか。
②コロナ禍での実践でみえた課題、時代に合わせた新しい行事のあり方など課題は。

A 教育長 ①行事のあり方を見直すことで練習時間や準備期間の削減につながり、教育課程上ゆとりが生まれた。実施の内容や方法が児童生徒にとって有効か、狙いや目標を設定し、様々な点に配慮した学校行事の運営が必要である。
②学習指導要領の改定により学習量が増加する一方、授業時間の削減も求められている。限られた時間の中、学校行事の縮小が必要なのが現状である。

A 都市建設部長
①大井戸湖岸公園・権現山公園の施設整備、機能導入等の検討内容を見据えながら整備計画に取り組んでいく。
②将来を見据えた道路ネットワーク計画について、総合計画・都市計画マスタープラン等の改訂を通じて総合的に検討し、小美玉市道路整備指針に基づき整備効果が出せるよう努める。

【要望】
農作物運搬車両の大型化や人口減少が進んでいる20～30年後を想定して、下玉里・川中子地区の道路整備計画を進められた

い。
Q 本市の道路整備計画について。
①新まちづくり構想にある大井戸湖岸公園へのアクセス道路整備計画は。
②人口減少・市施設の老朽化などでの施設改編を念頭においた道路整備計画は。

い。
Q 本市の道路整備計画について。
①新まちづくり構想にある大井戸湖岸公園へのアクセス道路整備計画は。
②人口減少・市施設の老朽化などでの施設改編を念頭においた道路整備計画は。

い。
Q 本市の道路整備計画について。
①新まちづくり構想にある大井戸湖岸公園へのアクセス道路整備計画は。
②人口減少・市施設の老朽化などでの施設改編を念頭においた道路整備計画は。

い。
Q 本市の道路整備計画について。
①新まちづくり構想にある大井戸湖岸公園へのアクセス道路整備計画は。
②人口減少・市施設の老朽化などでの施設改編を念頭においた道路整備計画は。

い。
Q 本市の道路整備計画について。
①新まちづくり構想にある大井戸湖岸公園へのアクセス道路整備計画は。
②人口減少・市施設の老朽化などでの施設改編を念頭においた道路整備計画は。

一人も取り残さない教育はどうあるべきか

フリースクールを設け不登校児童生徒の支援充実に取り組んでいく



福島 ヤヨヒ



Q 学校という集団での教育の在り方、一人も取り残さないための対応をどう進めていくのか。フリースクールを望む声も多いが、校内フリースクール等についての考え方を伺う。

A 教育長 年間30日以上

の欠席者が増加傾向にあり令和4年には194人いた。要因は一人一人違っていてその支援が課題となっている。フリースクールについては、今年度から校内フリースクールを小川南中に先行して開設し、次年度以降、拡充していく。引き続き、不登校児童生徒の支援の充実に取り組んでいく。

Q 通学路の安全対策として歩道がどのように設置されていくのか、道路の白線や標識などの安全確認はどう進められていくのか。通学時の見守り隊の役割、守備範囲はどのようになっているのか。

A 教育部長 交通安全確保を目的に「通学路交通安全プログラム」に沿って学校、PTA、地域住民等が連携し安全確保に

努め、危険箇所は予算を確保して取り組んでいる。見守りについては、見守り隊のほか様々な地域ボランティア主体があり、それぞれの目的や役割が異なるため、活動のあり方は学校運営協議会等で協議していく。

Q 市職員の働く意欲確保のための体制づくりに関する化が必要と思うが、どのような取り組みがされているのか。

A 総務部長 スキルアップのための研修参加や、人材育成に取り組み、配属先についても配慮していく。人事評価も審査委員会等で決定し、意欲を持って働ける職場環境づくりに努めていく。

Q 18歳市民の名簿が自衛隊に提出されているが、個人情報保護の観点から拒否についての考えはあるのか。

A 総務部長 自衛隊募集の規定によりすべての対象者の名簿の提出を行ってきたが、情報提供を拒みたい方に対しては、今後他市町村の動向を踏まえ検討する。

放課後児童クラブの長期休暇中に給食を
学校給食を提供するのは難しい



鈴木 俊一



Q 男性職員の育児休暇について

昼食を持参させている。共働き家庭やひとり親家庭にとって、毎日の昼食準備が大きな負担となっているのも事実である。

A 総務部長 令和5年度の男性職員の育児休暇の取得率は、行政職で、対象者11名中、取得者7名で63.6%の取得率となり、前年度の33.3%より大幅に増加している。

保護者の要望に沿えるような体制を整えていきたいが、学校給食に比べて約10分の1程度の給食数となることから、整理すべき課題が多く、コストも割高になることが見込まれるため、学校給食を提供するのは難しい。

Q 子連れ出勤は、予算を一切かけないでできる。

Q 樺通り・国道6号の維持管理について

市役所で出来たことは民間事業所でもできるはずだ。まだ制度の趣旨を十分理解してもらえない人からは否定的な意見もあるが、子どもを地域や社会で見えていくということが受け入れられてきている。見解を伺う。

A 都市建設部長 道路標識や信号、道路の見通しなど視認性への影響、落ち葉による沿道住民の生活に支障を及ぼしている事例が散見されるようになってきた。第三者への被害の未然防止といった街路樹の維持管理の重要性が増している。道路交通安全の確保に重点を置くことを基本方針として、一部除去を実施し、一定の景観を考慮しながら安全に向けた維持管理を行っている。

A 総務部長 職員の働き方改革や多様な働き方が求められる中、ご提案の子連れ出勤は、先進自治体の動向など、内容を含め検討し、仕事と子育てを両立できる柔軟な職場づくりにつなげていく。

Q 放課後児童クラブの長期休暇中の昼食について

A 福祉部長・教育部長 現在、保護者が子どもの

一定の景観を考慮しながら安全に向けた維持管理を行っている。

現在、保護者が子どもの

一定の景観を考慮しながら安全に向けた維持管理を行っている。

「ICT活用の学力向上の取組について」県内自治体の先駆けとしてデジタル・シティズンシップ教育を進めるべきだと思うが如何に

児童生徒が端末やネット、メディア等を、自分のためあるいは社会のために活用できるよき担い手となるよう推進していく



真家 功



Q 小美玉市の教育として、県内自治体の先駆けとした小中学校の発展段階に応じたデジタル・シティズンシップ教育を進めるべきだと思うが、教育長の見解を伺う。

A 教育長 各小学校において、児童生徒が端末やネット、メディア等を、自分のため、あるいは社会のために活用できるよき担い手となるよう、本市でもデジタル・シティズンシップ教育を推進する。

Q 次に、デジタル教科書の取扱いについて伺う。本市はデジタル教育に取り組んでいると思うが、現在どのように取り組んでいるのか伺う。その上で学習者用デジタル教科書の実証事業の効果はどうであったのか、また、見えてきた課題への対応策をどのように考えているのか所見を伺う。

A 教育長 学習者用デジタル教科書は、小学校5年生から中学校3年生を対象に、英語については市内全ての小・中・義務教育学校で、また、算数・数学については、小学校及び義務教育学校で5校、中学校及び義務教育学校後期課程で3校が提供を受けている。実証研究事業における児童生徒のアンケート調査結果か

らは、デジタル教科書のほうが「いろいろな情報を集めやすい」、「図や写真が見やすい」といった結果であった。学習場面に応じて、デジタル教科書と紙の教科書を使い分けられるようにしている。

Q 次に、厳しさを教える教育についての指導について伺う。困難を乗り越える力をつけるために厳しさを教える教育について、現在、どのような形で行われているのか伺う。

A 教育長 学校は、子どもたちに社会の一員として必要なことやルールなどを理解させ、身につけさせるところである。そこで重要となるのは、教師の子どもへの関わり方で、ただ単に褒める・叱るの問題でなく、子どもと本気で向き合えるかどうか、また、心を通い合わせる事ができるかどうかにかかっている。

今後、子どもとの信頼関係に基づき、温かく見守りながらも必要なときは厳しく指導し、困難を乗り越えるたくましさを育成できるように学校現場を指導していく。

- その他の質問
- ・フリーケーションの取組について
- ・COCCOLOプランの取組について

スマート農業の普及に向けて

市長公約でもあるスマート農業の推進を引き続き進めていく



宮内 勇二



Q スマート農業の現状と今後について

A 産業経済部長 令和5年度の成果としては、農業用ドローン導入1件に對して補助を行い、今後も継続して事業の周知を行いながら、スマート農業を実践する農家を支援していく。

【提案】

なかなか進まない現状があるので、まずは市が関係各所ときちんと連携をとり、スマート農業プロジェクトチームを作ったどうか？そして農家と協力して、少額の予算で着手できる小規模なモデル事業に着手していただき、小さな成功と失敗を繰り返しながらしっかりと目標を達成できるように小美玉市のスマート農業を発展させていただきたい。

Q 小中学校の不登校児童や保護者に対する支援策や取り組みについて

A 教育長 児童生徒の心の変化や行動の変化を的確にとらえ、学校・家庭・関係機関等が連携して支援にあたるように、助言や調整を行っており、

相談窓口の充実を図っている。主に児童生徒を対象として、昨年度に市内全校で整備が完了した、一人一台端末を活用したオンライン相談窓口があり、児童生徒やその保護者を対象として、教育支援センターや教育委員会内に配置されている教育相談員による電話相談や来所相談等を実施している。

Q 教育関係者の研修やサポートについて

A 教育長 生徒指導提要をふまえて市教育委員会による訪問指導や研修会を実施し、助言指導を行っており、各学校の生徒指導を中心に進めている先生方を対象とした研修会では、不登校に関する市の現状や実態を踏まえて、どのような支援が効果的であるか、情報交換したり、効果のあった事例を共有している。

【提案】

教職員の理解度チェックなどを行うことで、研修時間のみならずより質の高い対策につながるため、簡単なアンケートやテストのようなものを実施していただきたい。



自治体版ライドシェア導入を提案する

より良い地域公共交通サービスの提供に向け検討する

石井 旭



A 市長 公共交通には地域の課題や特定の対象の個々要望に応じるための様々な形態がある。本市にとって適切で、高齢になっても、いきいきと暮らし続けていける、

考えている。
公共交通安全の提供に向け、地域公共交通会議で検討していきたいと考えている。

からの専門家派遣をきっかけとして、勉強会の実施結果を踏まえながら、多くの市民が受講いただけるよう、今後の継続的な開催も検討していく。

や猟友会など関係機関とも連携し、広く周知を行い、農閑期に開催したいと考えている。また、県

【提案】
交通空白地に「自治体版ライドシェア」一般運転の輸送サービスが、令和6年4月から解禁された。導入を提案する。市の見解を伺う。

A 都市建設部長 常陸太田市では、自治体版ライドシェア制度を活用して地域コミュニティが運営し、タクシーと同様にドアツードア方式で移動できるなど地元の高齢者にとっては安心して利用できるサービスであると考えている。本市としては、国の動向や県内の他自治体の取り組みを注視しながら、より良い地域公共交通サービスの提供

外出しやすい環境の実現を目指して検討していく。
Q 県補助事業を利活用し、野生鳥獣による被害防止と地域住民が主体となり防除対策に繋げるため、講座開催などを昨年12月に提案したが、その後の経過を伺う。
A 産業経済部長 「有害鳥獣被害勉強会」の実施については、今年度中の開催に向けた最終的な準備を進めている。今回の勉強会では、茨城県が専門家を派遣し、直接指導や助言を行う「鳥獣被害対策指導員派遣事業」の活用を検討している。県の採択を受けたら、JAや猟友会など関係機関と

行政評価実施のスピード感は

現計画期間の5年で全31施策の評価を進める



谷仲 和雄



Q 一年に扱える外部施策評価のテーマは限られており、行政評価実施のスピードという点において改善の余地があると考えますが、所見を問う。

また、ビルド・アンド・スクラップなど、事務事業の検証と見直しを行い、三か年実施計画に位置付けていく。

Q 行政評価システムの構築について、総合計画の達成状況や施策の成果を測る視点の行政評価において、施策の外部評価結果を踏まえ、施策目標達成のための事務事業の検証、見直し、実施計画に反映させる過程で、事務事業の選択と集中へと繋がるという理解でよいのか、所見を問う。



▶ 総合計画審議会専門委員会による施策評価

A 市長公室長 外部評価の実施にあたって、10月の新年度予算の編集時期を見据えた中で、行政活動のマネジメントサイクルでの評価・改善・計画を全ての施策及び事業で取組むには時間的制約がある。しかしながら、現計画期間5年の中で全31施策の評価をいただきながら、検証し、引き続き推進すべき施策、新たな課題やニーズに対応すべき施策等、今後の施策の方向性を決定し、次期計画に反映していかなければならないと考えている。

奨学金返還支援事業を提案する

関係部局と協議してまいりたい



鬼田 岳哉



Q 当市独自の奨学金制度の利用状況は。

A 教育部長 条例に基づき、経済的理由により高等学校や大学への就学が困難な者に対し、無利息での奨学資金の貸与を行っているが、貸与を継続する学生はいない状況である。

Q 一方で、奨学金制度自体を利用する学生は全体で、約2人に1人の割合が存在する。そこで※奨学金返還支援事業を提案する。

※一定の条件の基、自治体が奨学金制度利用者の返還を支援（金銭的負担等）する。子育て支援、移住定住促進、地元企業・団体への労働力確保支援等、多くのメリットが期待できる。

A 教育部長 来年度からの第3期総合戦略の策定が本年度中に行われることから、総合戦略への位置づけを含め、関係部局と協議してまいりたい。（国の財政的支援を受け

るには、本市の総合戦略

への記載が必要。）

【提案】

当市指定の燃やすごみ専用袋のデザイン変更を提案する。

A 市民生活部長 ごみの分別や集積所環境の改善につながる提案であるので、イラストや外国語表記を含め検討のうえ、実施してまいりたい。

Q 確定申告の住民・職員負担の軽減対策は。

A 財務部長 以前と比して改善されているが、今後一層の電子申告を普及させるために、税務署と協同し、スマホ申告講座や、申告時のスマホ申告コーナー設置を検討中。なお、対面対応は廃止しない。

【提案】

職員の通年軽装化を提案する。

A 総務部長 TPOに十分配慮する中で、提案内容を検討し、働きやすい職場づくりに繋げてまいりたい。

タクシー券を要介護重度者にも使用できるように是正を

現行の制度拡充で実現可能だと考える



山崎 晴生



Q 要介護重度者は普通タクシーの利用が困難で介護タクシーを利用されており、費用負担が大きいがどう考えているか。

A 福祉部長 現在、市内のタクシー事業者で、車椅子などに座ったまままで移動する専用車両を保有し対応しているところがない、要介護ご本人、ご家族含めて移動にかかる負担の軽減の対応は極めて重要である。

【要望】
要介護重度になっても安心して外出できる環境を整備する必要がある。この不均衡な状況を是正して頂けるよう強く要望する。

Q 現在市営住宅の募集が停止しているのはなぜか。

A 都市建設部長 老朽化により損傷の著しい住宅があるほか、用途廃止を予定している住宅や長寿命化工事期間中の現入居者の移転先確保などのため、すべての市営住宅で現在募集を停止している。

【要望】
入居者等に不利益が生じないよう、慎重に今年度作成予定の長寿命化計画で検討を要望する。

Q 小美玉市は二つのサイクリングロードの結節点であり、重要な拠点と考えるがどのように推進するのか。

A 産業経済部長 サイクルイベントを定期的開催し、令和7年度中にさらら周辺にサイクリステーション完成を目指す。

【要望】
予算確保、適正な予算執行、市民の意見、自転車専門家の関与を要望する。

第71回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第74号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、QUOカード2,000円分を10名にプレゼントします。ぜひご応募ください！

- 問① 令和6年第2回定例会 一般質問者数は〇〇名。
 問② 令和6年第2回定例会 審議結果件数は全〇〇件。
 問③ 令和6年第3回定例会の開会予定日は8月〇〇日。

◇応募方法 電子申請・はがき・FAXなどで、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇締め切り 令和6年8月30日（金）まで
 ＊当日消印有効



応募用 QR

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉 835
 小美玉市役所議会事務局宛 FAX：0299-48-1199
 ☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。
 ☆クイズ当選者発表はQUOカードの発送をもってお知らせします。

◆第70回クイズの正解： 問①24 問② 9.6 問③ 代表

- ・私自身に子どもがいるため、子育てに関する情報など興味深く、今後も注目していきたいです。小美玉市も他の市と同じように少子化対策を積極的に行っていたら嬉しいです。（上玉里・Y）
- ・審議内容の説明をもっと詳細に知りたい。議会の質問と答弁のところには可決された審議内容がほとんど載ってない。（羽鳥・O）
- ・おみたま市議会だよりを有難うございます。表紙の玉里幼稚園最後の卒業式は、卒業の子どもさんの表情にさみしさを感じました。子どもさんの将来が明るい未来に繋がることを祈っています。（花野井・N）
- ・本会議のライブ中継や、録画映像が視聴できるようになり、市議会が身近に感じられるようになってきました。（羽鳥・I）
- ・市政にまったく関心がなかったのですが、このクイズの応募がきっかけで Gikai を読むようになり、3歳の子どもがいる私としては、「おみたまっ子応援パッケージ」に興味を持ちました。（張星・T）

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。

本会議のライブ中継や録画映像が視聴できます

令和6年第2回定例会アクセス数 **1,017** 件
 これまでの累計アクセス数 **13,730** 件

本会議の映像配信、
 会議録検索はこちらから



ライブ中継

LIVE が表示されている会議を選択し、ライブ中継をご覧ください。

録画映像配信

インターネット中継を行った過去の本会議をご覧になれます。



表彰および感謝状

各議員が永きにわたり市政発展のために尽くされ、その功績が認められたものです。今後も一層の活躍が期待されます。

全国及び県市議会議長会表彰

正副議長 4 年以上 石井 旭

県市議会議長会表彰

議員 8 年以上 石井 旭 村田 春樹

全国市議会議長会感謝状

産業建設委員任期満了 荒川 一秀 長島 幸男



会派異動のお知らせ

令和 6 年 5 月 1 日に会派「創生小美玉」に
鬼田 岳哉 議員が新たに加わりました。

【委員構成】

◎長津 智之 ○真家 功 荒川 一秀
島田 清一郎 【新】鬼田 岳哉

◎…代表者 ○…経理責任者

その他の会派はこちら ▶



第 3 回定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27 議会運営 委員会	28 本会議 (議案説明等) 開会	29 議案調査	30 議案調査	31
1	2 議案調査	3 議案調査	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7
8	9 決算特別 委員会	10 決算特別 委員会予備日	11 常任委員会	12 常任委員会	13 常任委員会	14
15	16	17	18 本会議 (報告、採決) 閉会	19	20	21

次の定例会は
8月28日(水) 開会予定

* 議場（市役所本庁舎3階）での傍聴には、簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。

* 委員会等の詳しい日程については、8月27日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

* 定例会中の本会議（一般質問など）は、同時放映を行っています。本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでご自由にご覧いただけます（受付は不要）。

会議の種類	傍聴	モニター中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

編集後記

いよいよ夏休み！学校に通っているころは、いつもこの季節が待ち遠しいものでした。これから夏休み、学校から解放されるというあの気持ちは今でも思い出すことができるのではないのでしょうか。しかし、社会人になってからは、お盆前に仕事を気持ちよく全うしたいという気持ちが先行し、むしろ解放感というより、頑張るぞという思いが強くなってきたように思います。その思いが、今、議会だよりに向けられています。議会だよりを担当しているので議会の広報特別委員会では「おみたま議会だより」の刷新に向けて取り組み始めました。これまでは、議会でのことを市民の皆様へ報告する手段の一つとして発行すればよいという意識でしかなかったところがあつたと私自身反省しているところであります。どんなに素晴らしい議会だよりを発行したとしても、それは、市民の多くの皆様へ手に取ってもらい、読んでもらえなければ、絵にかいた餅にしかならないのではないかと感じるようになりました。そこで、広報特別委員会では、紙面の内容をさらに充実させ、よりたくさんの方の市民の皆様へ目を通してまいります。議会だよりへと一新してまいります。議会だよりの一掃こそが、小美玉新時代の礎の一つとなるように、との思いで取組んでまいります。

発行編集責任者
広報特別委員会

議長 長島 幸男
副議長 香取 憲一
委員 山崎 晴生
委員 鈴木 俊一
委員 長津 智之
委員 真家 功
委員 戸田 大我
委員 鬼田 岳哉

鈴木 俊一

